

2011年8月10日(水)

総合 午後5時25分～5時55分

のんびりゆったり 路線バスの旅「瀬戸内 とびしま海道 島めぐり」

初夏の瀬戸内海は、まばゆいばかりの青い海と空、そして大小様々な島が織りなす美しい風景が広がる。3年前、広島県呉市にある下蒲刈島と豊島との間に橋が架かり、愛媛県の岡村島に至る7つの島々が7本の橋で繋がった。「安芸灘とびしま海道」と名付けられたこの道は、明石海峡大橋や西瀬戸自動車道、瀬戸大橋などと違い、一般道を通るため、文字通り「のんびりゆったり」とした旅が楽しめる。

行く先々の島で途中下車し、地元の人々とふれあった俳優の山本耕史さん。瀬戸内ならではの温暖な気候に育まれた、朗らかな島の人たちの人柄に、山本さんの心も癒されていった。



とびしま海道を走る路線バス



旅人は俳優・山本耕史さん



港で出会ったご主人と・・・ くっ

【お問い合わせ情報】

<旅程>

[1日目]

■JR呉駅前～仁方駅前

* 呉駅前からバスで住宅街を抜ける

安芸灘とびしま海道を目指し、駅前で聞き込みを開始。「赤いバス」と道行く人が教えてくれたバスは、「とびしまライナー」と呼ばれるもので、これは広島のバスセンターから呉駅前を経由してとびしま海道に向かう。しかし、1日4本と便数が少なく、最速でも10時50分発なので、他のバスを乗り継いで行く方法を選択する。

呉駅前を出たバスは市内の住宅街を通り、仁方駅を目指す。市内の住宅街は、山の斜面を這い上がるように、上へ上へと数珠繋ぎになっている。窓から見える呉ならではの家並みを見るのも楽しみのひとつ。

* 仁方駅前を散策

仁方駅前でバスを乗り換える。仁方は「ヤスリ」の産地、そして醤油や日本酒などの醸造地としても知られている。バス停近くのお店で、店主おすすめの「豆大福」をほおぼる。また、この店は知る人ぞ知る、地元でも有名な手作りサンドイッチのお店。柔らかいパンと新鮮な野菜、厚めに切ったトンカツや海老カツを挟んだサンドイッチは名物のひとつ。

■仁方駅前～見戸代(みとしろ 下蒲刈島)

* 塩造りの島 蒲刈 海のはしらは安芸灘大橋から！

呉市から安芸灘大橋を渡って、最初の島「下蒲刈島」に辿り着く。俗にこの地方で呼ばれる「蒲刈」とは、この下蒲刈島と次の上蒲刈島とを指す。ともに塩づくりが盛んな島だ。

安芸灘大橋から眺める海は、まるで天空を走っているかのような錯覚をおぼえることも。特に、この路線バスは景色を意識してか窓が大きく、最後部の座席から見ると左右に青い海が広がるパノラマを堪能できる。

見戸代駅を降りると公園があり、いま渡ってきた安芸灘大橋を一望できる。橋は歩いて渡ることもできる。見戸代駅からは歩いて5分

で、橋まで辿り着く。地元の人たちのウォーキングコースにもなっている。

■見戸代～向小市の浜(むかいおいちのはま 上蒲刈島)

* 秋から冬はみかんの島 夏は「すもも」が美味しい!

とびしま海道ふたつめの島は、みかんの産地として知られる。太陽と海からの照り返し、段々畑の石の照り返しという「3つの太陽」が、甘みの多い蜜柑を育てるという。夏は広島県一位の出荷量を誇る「すもも」の収穫が最盛期を迎える。早生と通常の二種類の「すもも」が栽培されているが、早生は少々青くても甘みがあって美味しい。

バス停をおりて向地区の集落に向けて歩き出すと、左右にせり出した山に、蜜柑の木が見える。舗装された山道を歩いて山頂を目指していくと、蜜柑の木に混ざってすももの木が多くなる。およそ30分歩くと、向地区の集落と島と島との間にある「瀬」や瀬戸内海が一望できる。農作業をしている地元の人たちに出くわすと、すももや僅かに残った蜜柑をこころよく勧めてくれる。

[2日目]

■向小市の浜～金崎(かねさき 豊島)

* 朝市で新鮮な魚を

金崎のバス停近く。豊島漁協の広場では、毎週土曜日、午前8時から10時まで、朝市が開かれる。この朝市は、なんと生きたまま瀬戸内の魚が売られている。生け簀になっているのは、古くなった地元の漁師たちの船。その中を、鯛、アジ、サバ、オコゼ、アコウといった瀬戸内ならではの魚が元気に泳いでいる。魚は一週間、地元の漁師達が獲りためたもの。瀬戸内のこうした小魚は、潮の流れに揉まれているため、身が引き締まって美味しいという。遠く岡山や四国から、この朝市に魚を買い求めに来るお客さんもいる。

■金崎～沖友天満宮前(おきともてんまんぐうまえ 大崎下島)

旅の終わり、とびしま海道の南の端にある沖友地区。左手に四国、今治市を見ながら海岸をひた走ると、最後の集落が見えてくる。沖友天満宮は、菅原道真が九州に戻る際に立ち寄り、建立したものとされ、今も学問向上にとお参りする人もいる。

時間があれば、終点から3つ手前の御手洗(みたらい)で途中下車してみるのも良い。江戸末期から、大正、昭和初期の家並みが今も遺されている。瀬戸内を往来した貿易船の風待ち、潮待ちの港として栄え、とびしま海道の中でも一風変わった、商業的な町並みが広がっている。

<利用したバス>

呉市営バス 0823-25-6700 呉駅前～仁方駅前

呉市営バスは今年度いっぱいまで民営化される。

瀬戸内産交 0823-70-7051 仁方駅前～沖友天満宮前

さんようバス株式会社 0846-65-3531 広島バスセンター～呉駅前～沖友天満宮

* 広島から行く場合は、このバスが便利です。

<お問い合わせ>

呉観光協会 0823-21-8365

豊島漁業協同組合(朝市) 0823-68-2006

呉農業協同組合向店(すもも) 0823-68-0633